

鳥取県立中央病院「重度障がい児者医療型ショートステイ整備事業」



利用方法のご案内



<サービスの種類>

障害者総合支援法『医療型短期入所』 空床利用型（1床）

<ご利用可能な方>

1. 居住する市町村において障がい福祉サービス受給者証が交付され、『医療型短期入所』の支給決定を受けておられる方で、当院で受け入れ可能な方
2. 在宅で介護を行う方の病気その他の理由により短期間の利用を必要とする方

<新規にご利用の方>

1. 申請

居住地の市町村の障がい福祉の窓口、「鳥取県立中央病院の『医療型短期入所』を利用したい」旨をご相談ください。市町村が認定した場合、後日受給者証が交付されます。

2. 外来受診の予約

新規にご利用希望の場合、外来受診をしていただきますので、申請されましたら当院の地域連携センターに「初めて医療型短期入所を利用したい」とご相談ください。事前の確認事項についてお話を伺います。

また、当院からお渡しする「医療的ケア・体調確認用紙」に必要事項をご記入いただき、外来受診前々日までに、提出してください。（持参・郵送・FAX可）

なお、複数回のご予約はご遠慮を頂いております。

※かかりつけの医療機関がある場合は、紹介状を外来受診日にお持ちください。

3. 外来受診

予約日時に外来受付機で受付をして受診してください。

ご利用可能かどうか問診や診察、場合によっては検査を実施し、医師がご利用可否の判断を行います。また、お試し宿泊とショートステイ日時の最終決定を行います。

4. 利用前打ち合わせ

ご利用可能と判断した場合は、外来受診当日に（重度訪問介護事業所のヘルパーの都合によっては別日となる場合があります）利用前打ち合わせを関係者（ヘルパー、看護師、事務職員など）とさせていただきます。

ご利用に備えて、事前にいただいた情報をもとに補足確認と、付添時間（付添いの希望時間帯、1回当たりの付添い時間など）、付添い時の支援内容など調整させていただきます。

5. 利用契約

契約に関する説明は、医事課担当者がさせていただきます。

6. お試し宿泊

保護者と一緒にご利用していただきます。

ご利用者の状態の把握や支援内容の確認を病棟スタッフとヘルパーが行い、保護者がおられなくても安全で安心して病棟を利用できるようにいたします。

ご利用時間は、平日 午後 14 時～翌日 11 時とさせていただきます。

病室への当日案内は、看護師等およびヘルパーが対応いたします。



7. ショートステイ利用

予約日時に外来受付機（土日祝祭日は救急外来窓口）で受付をしてください。

病室への当日案内は、看護師等およびヘルパーが対応いたします。

<お申し込みからご利用までの流れ>

1. お申し込みは、利用希望日の 1 ヶ月前までに地域連携センターにお電話ください。重度訪問介護事業所と調整いたします。
ただし、ヘルパーの調整が困難な場合には、ご予約できないことがあります。
2. お申し込み受付後、地域連携センターは、医師との日時調整を行い、重度訪問介護事業所とも調整し、外来受診日時を受付後 1 週間前後にご返答させていただきます。
3. お試し宿泊とショートステイ利用日のご利用前日の 13 時～15 時に地域連携センターにご連絡いただき、利用病棟のご確認をしていただくとともに、ご利用の最終確認をさせていただきます。

※ご利用開始日が土日祝日にかかる場合の確認は、平日の 13 時～15 時にお願いいたします。

4. 下記の場合は、ご利用の 24 時間前までに地域連携センターにご連絡ください。

※平日：地域連携センター 電話番号 0857-21-8501(直通)

※土日祝祭日：利用病棟 電話番号 0857-26-2271(代表)

- ①ご利用時間の変更および中止の時
- ②お申し込み時と状況が変わった時
- ③ご家庭や園・学校などのご利用事業所内で流行性の感染症の発生があった時 例) 風邪、インフルエンザ、胃腸炎、風疹、はしか、水ぼうそう、おたふくかぜなど

5. 入退院の時間について

ご利用者の安全を考慮し、入院の時間は原則 14 時、退院時間は原則 9 時～17 時とさせていただきますのでご協力ください。(緊急時はその限りではありません。)

6. 利用病棟について

鳥取県立中央病院 小児病棟・一般病棟

※利用していただく病棟は利用の度に異なる場合があります。

7. 利用可能な個室等の確保ができないなどの事情により、急遽お断りする場合があります。

<お問い合わせ>

鳥取県立中央病院 地域連携センター

〒680-0901 鳥取市江津 730 番地

電話番号 0857-21-8501(直通) FAX 0857-21-8507(直通)

(土日祝日を除く 8 時 30 分～17 時 15 分)



平成 28 年 7 月 14 日